

ギョウジャニンニク ユリ科

Allium victorialis L. var. *platyphyllum* (Hulten) Makino

鳥取県：絶滅危惧 類 (CR+EN)

環境省： -

選定理由 局限・孤立，分布限界，遺存性，希少性。

生態・形態 深山の林内に生育する夏緑性多年生草本。県内では渓谷沿いの岩角地の土壌堆積地に生育する。遺存植物。鱗茎は細長く，古い葉鞘がシュロ状になって残る。ネギ臭が強い。葉は茎の下部に2~3枚，長楕円形，大形，長さ20~30cm，幅3~10cm，鈍頭，基部はくさび形，葉鞘は長く茎を抱く。花は6~7月，白色，茎頂に1個の散形花序，花は多数，花茎の長さは40~70cm。和名は行者が食用にしていたことに由来。

分布 北海道，本州近畿以北。

(県内) 若桜町。分布西限

保護上の留意点 山地渓谷の自然林の植生保護。

